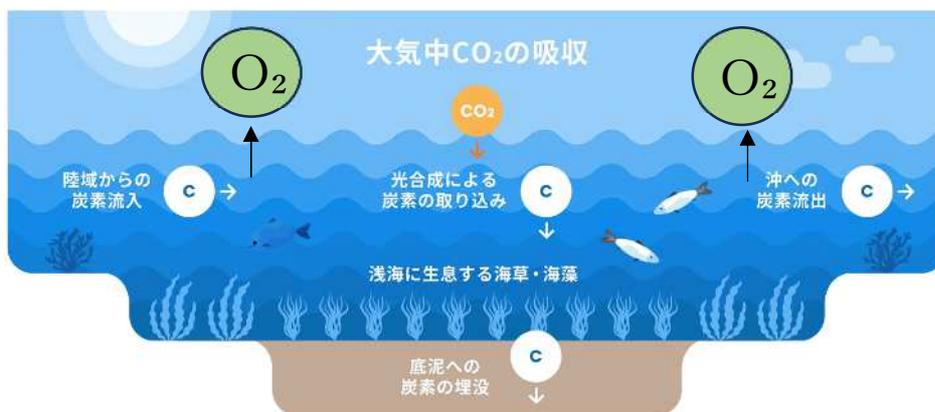


地球温暖化を防止する一環として

～ブルーカーボンプロジェクト活動報告～

皆さまは、「ブルーカーボンプロジェクト」について知っていますか？これは主に、海の中でアマモ(海草の一種)を育て、そのアマモの光合成によって大気中の二酸化炭素から酸素と炭素を作り出してもらい、海の豊かさを再生していこうという取り組みです。これ以外にも海の生き物たちの産卵・保育場として生物多様性を支える面や、漁業など水産資源の活性化、化粧品や燃料などへの産業利用、教育やレジャーの場の提供といった多面的な価値があります。この活動は地球温暖化の防止だけでなく、生物多様性に富んだ豊かな海を醸成し、ひいてはわたしたちの豊かな生活に繋がります。



現在はこのプロジェクトに参加したいという企業も増えてきており、少しずつ注目を浴びてきている活動になります。コバルト技建も、鹿児島県指宿市にある山川港の山川漁協さんが中心となっているプロジェクトに参加し、アマモの種の選別、アマモマットの作成と2回活動いたしました！次回は来年5月頃、海の中で育ったアマモをモニタリングする活動に参加予定です！

9月 種の選別



ピンセットで挟んで
つぶれない種が良い種



一生懸命ピンセットで選別していましたが、実際には塩分濃度の高い水に入れると、良い種は沈み、悪い種は浮かぶという一瞬で選別できるものでした(笑)



11月 アマモマットの作成



選別したアマモの種を、のり状のものに混ぜ、手で塗り広げます。



アマモの種が海の中でバラバラにならないよう、マットで挟みます。



マットの上に金網を取り付けて完成。



このマットはヤシの木で作られており、海の中で時間をかけて水に溶けていくそうです。

政府は、2050年までに二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出について実質ゼロを目指すことを宣言しています。ゼロにできない排出量については、他者による二酸化炭素の削減・吸収量の購入によって埋め合わせることで調整するという動きが今後出てくると思います。いずれは、このプロジェクトでアマモが吸収した二酸化炭素を定量化し、「クレジット」として取引ができるよう見通しがされています。地球温暖化の防止、私たちの生活、さらには会社のためにも繋がる活動です。

テレビや人づてで見聞きしない限り、この活動を知る機会は少ないと思いますが、少しでも多くの方々に知ってもらい、広まっていけばいいなと思います。

経過を皆様にも報告できるよう、次回以降の活動も頑張ります。